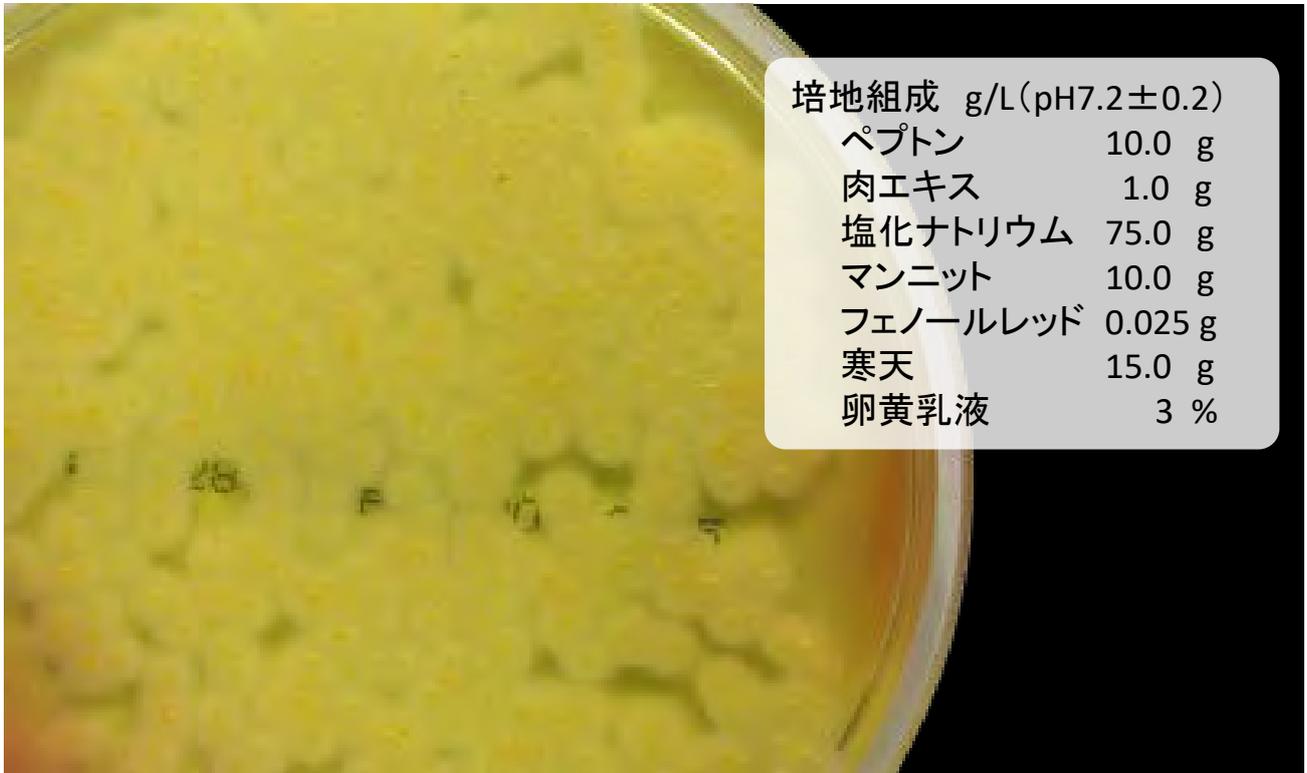


卵黄加マンニット食塩寒天生培地Ⅱ

Food Microbial Inspection Products



培地組成 g/L(pH7.2±0.2)

ペプトン 10.0 g

肉エキス 1.0 g

塩化ナトリウム 75.0 g

マンニット 10.0 g

フェノールレッド 0.025 g

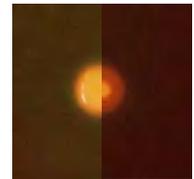
寒天 15.0 g

卵黄乳液 3 %

- 公定法や食品衛生検査指針で推奨されている培地処方です
- 発育集落をシャープにすることで、従来培地より黄色ブドウ球菌の卵黄反応を明瞭に確認できるようにしました

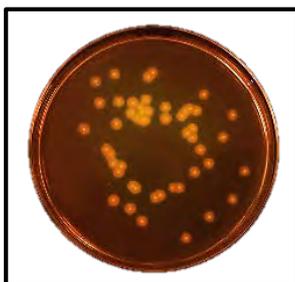
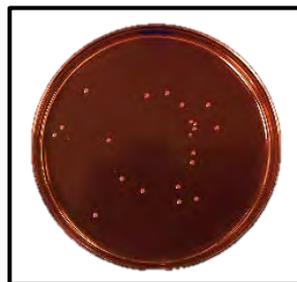
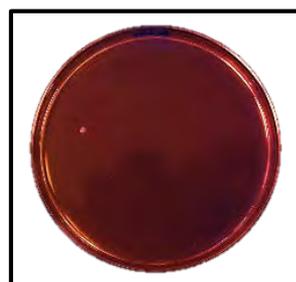
写真左: 当社従来製品

写真右: 本品



培養所見

耐塩性を示す *S.epiderimidis* とは卵黄反応の有無で判別ができます。
また、ハコを形成する *B.cereus* やマンニット分解能をもつ *M.luteus* など夾雑菌の抑制力も従来の培地より優れており、*S.aureus* との区別も容易におこなえます

*Staphylococcus aureus**Staphylococcus epiderimidis**Bacillus cereus**Micrococcus luteus*

黄色ブドウ球菌の試験法

乳剤作成

- 試料 25g を緩衝ペプトン水 225mL に加えてストマッキング処理
- 必要に応じて、10倍階段希釈液を調製（100倍、1000倍）

選択分離

- 検体各希釈につき 0.1mL を 2枚 の選択分離培地に塗抹
公定法：ベアードパーカー寒天培地
卵黄加マンニット食塩寒天生培地
迅速法：クロモアガースタッフ・アウレウス生培地

確認試験

- 疑わしい集落を 2～5個/枚 を釣菌し、純培養
- グラム染色やコアグラージェ試験などにて同定
- 試料 1g 当たりの菌数を選択分離培地上の集落数から算出

※ 本試験法は、厚生労働省通知 食安発0729第4号を加工して作成しております

製品リスト

製品名	包装	製造後使用期限	保管温度	製品番号
培地				
卵黄加マンニット食塩寒天生培地Ⅱ	10枚× 2包	4ヶ月	2～ 8℃	717590-6
	10枚× 10包			717590-7
関連製品				
緩衝ペプトン水 ISO処方（調整済み）	225mL× 30本	1年	室温	717725-0
ベアードパーカー寒天培地	10枚× 2包	3ヶ月	2～ 8℃	71722
	10枚× 10包			71721
クロモアガースタッフ・アウレウス生培地	10枚× 10包	4ヶ月	2～ 8℃	72062
ドライスポットスタフィテクトプラス	120回	2年	2～25℃	717511-1
スタフィテクトプラス	100回	2年	2～ 8℃	717512-1



関東化学株式会社

試薬事業本部 試薬技術部

〒103-0022 東京都中央区日本橋室町2丁目2番1号
TEL: 03-6214-1090
HP: <https://www.kanto.co.jp>

M-110(202101)